

令和元年度北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議開催結果（概要）

日時：令和元年7月30日(水)19:00～20:30

場所：川薩保健所 2階会議室

出席：委員 20名

随 行 4名

傍聴者 16名

事務局 4名

議 事 ※質疑・意見等は抜粋

(1) 報告事項

ア 北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議の開催状況について

- ・資料1に基づき平成30年度調整会議・専門部会の概要，調整会議における主な意見について報告した。

イ 平成30年度病床機能報告制度集計結果（速報値）の概要について

- ・資料2に基づき平成30年度病床機能報告集計結果（速報値）の概要等について報告した。

ウ 地域医療構想に関する現状把握のための調査について

- ・2025年に向けて急性期への転換や増床を検討している医療機関が4カ所，回復期への転換予定医療機関が2カ所，慢性期への転換予定医療機関が1カ所，介護保険施設等への転換予定医療機関が4カ所，既に転換した医療機関が1カ所，病床廃止とする医療機関が2カ所となっている。
- ・今回の調査様式では，医療機関が適切な回答をしづらい部分もあり，今後調査票様式の検討が必要である。

(2) 協議事項

<報告>

ア 公立病院及び公的医療機関等2025プラン対象医療機関計画の進捗状況について

H29年度に策定した「公的医療機関等2025プラン」の進捗状況や変更点などを「個別の医療機関の2025年に向けた計画書」に基づき報告があった。

イ 休棟・休床のある医療機関における各医療圏機能別専門部会の協議結果について

休棟・休床のある12医療機関について，出水及び川薩保健医療圏の機能別専門部会での検討結果がそれぞれから報告された。

<協議結果>

質疑応答なく合意されたものとする。

ウ 令和元年度北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議の進め方

<報告>

- ・2019年年央までに国が分析を完了し、医師の働き方改革を加味し、公立病院、公的医療機関における地域内の再編統合を改めて合意していく予定としている。
- ・2040年を展望した医療提供体制の改革について、2025年までに着手すべきこととして、地域医療構想の実現、医師・医療従事者の働き方改革の推進、実行性のある医師偏在対策の着実な推進の三位一体で推進していくこととなっている。また、外来医療に関する協議の場の設置等の枠組みも必要とされ、今年度11月頃までに県は外来医療計画を策定することとなっている。

<主な意見・質疑等>

- ・地域の特性を加味し、病院の医療機能の重複、分担等について確認し、統合・再編の必要性を見極めるべきである。
- ・救急医療については、統合すると輪番の回数が多くなり、負担が大きくなると思われる。公的な援助が必要と考える。
- ・2つの医療機関の統合を考える場合、すべての機能を両医療機関で役割分担すると疾病が合併している場合など対応できない。一定程度ずつは両医療機関で担うことができなければ地域医療として住民に迷惑をかけることとなることを理解してほしい。
- ・地域に密着した医療は、複数医療機関で行う必要がある。
- ・機能分担すると患者が医療機関を行ったり来たりするため現実的ではない。1つに統合することもいいと思うが、行政も資金の投入など支援していただき、広い視野で考えていく必要がある。

<協議結果>

- ・地域の医療（外来をも含めた）について、みんなで考えていくことが重要である。今後も各圏域専門部会、調整会議で協議していく。
- ・令和元年度北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議の進め方（案）については、了承された。

(3) その他

ア 地域医療介護総合確保基金事業補助金について

- ・医師会で准看護学校・看護学校を運営している。基金の活用について模索しているので、行政の対応をお願いしたい。

イ その他について

- ・協会けんぽを次回より、調整会議委員として委嘱することの報告を行った。